

百歳を健康に生きられる社会の実現に向けて

ー健康長寿社会を支える健康モニタリングと情報活用ー



日時 平成26年3月10日(月) 13:00~17:45

場所 JASSO国際交流会議場 プラザ平成(臨海副都心)

参加費 無料 (交流会参加費 4,000円)

ー開催趣旨ー

高齢化時代を迎え、社会の持続性と満足度の高い生活を両立させるためには、高齢者が社会との関係を保ちつつ自律的に生活できることが重要です。そのためには、多数の高品質な健康サービスが連携し、高齢となった後でのケアだけでなく、高齢者となる以前から、心と体の健康を維持・向上させていくことが必要です。本シンポジウムでは、今後社会を変えていく健康サービス、そしてその品質保証や普及に必要な環境と健康関連情報の整備・拡充についてサービス事業者、研究者など異なった視点を交えた議論を行い、課題意識の共有を目指します。将来の高齢者の「質」の変化は、必要なケアと社会基盤を変えると同時に、新たな製品・サービス市場の形成につながることを期待されます。

プログラム

		※敬称略
13:00~13:05	開会挨拶	
13:05~13:15	来賓あいさつ 経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長	森田弘一
13:15~13:25	開催趣旨説明	
13:25~14:00	「医療・ヘルスケアの将来と東北メディカル・メガバンク」 東北メディカルメガバンク機構長	山本雅之
14:00~14:35	「周産期~小児健康情報の蓄積と活用に向けて」 香川大学名誉教授、徳島文理大学教授	原 量宏
14:35~14:45	ー休憩ー	
14:45~15:20	「こころと体の健康の測定と予知に向けた技術」 (独)産総研健康工学研究部門長	吉田康一
15:20~15:55	「歩き方を知り、歩き方を変えて健康を維持ーデジタルヒューマン技術による歩行評価ー」 (独)産総研デジタルヒューマン工学研究センター長	持丸正明
15:55~16:30	「健康・医療情報の活用に向けた課題と対策」 (株)東芝ヘルスケアニューコンセプト開発部部长	高山卓三
16:30~17:40	パネルディスカッション 「今後の健康サービスに必要なもの~高齢者の社会参加に向けて~」 モデレータ：(独)産業技術総合研究所理事 パネリスト： ※50音順	湯元 昇
	◇斎藤健一 健康ライフコンパス株式会社 代表取締役社長	
	◇志賀利一 オムロンヘルスケア株式会社 技術専門職	
	◇高山卓三 株式会社東芝ヘルスケア事業開発部 部長	
	◇原 量宏 香川大学名誉教授、徳島文理大学教授	
	◇持丸正明 デジタルヒューマン工学研究センター センター長	
	◇山本雅之 東北メディカルメガバンク機構 機構長	
	◇吉田康一 産総研 健康工学研究部門 部門長	
17:40~17:45	閉会挨拶	
18:15~20:15	交流会	

<主催> 独立行政法人 産業技術総合研究所
<共催> 一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会
<後援> 経済産業省(予定)

先着200名

申し込みは 1.ウェブサイト(<https://unit.aist.go.jp/>) または 2.メールで
【記入項目】・氏名(ふりがな) ・ご所属・ご役職・メールアドレス・電話番号・交流会への参加・不参加

事務局:

産業技術総合研究所ライフサイエンス分野研究企画室(担当:玉野上、鈴木) E-mail: kenko100-ml@aist.go.jp



独立行政法人 産業技術総合研究所



一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会
Japan Research Industries and Industrial Technology Association